4月2日は「世界自閉症啓発デー」
4月2日から4月8日は「発達障害啓発週間」です

発達障害は、生まれつき脳の発達が通常と違っているために、幼児のうちから症状が現れ、通常の育児ではうまくいかないことがあります。成長するにつれ、自分自身のもつ不得手な部分に気づき、生きにくさを感じることがあるかもしれません。

発達障害の特性を本人や家族・周囲の人がよく理解し、その人にあったやり方で、日常的な暮らしや学校・職場での過ごし方を工夫できれば、持っている本来の力がしっかり生かされるようになります。

この機会に、発達障害について理解を深めましょう。

発達障害とは生まれつきの特性で「病気」とは異なります

発達障害はいくつかのタイプに分類されており、「自閉症」、「アスペルガー症候群」、「注意欠如・多動性障害(ADHD)」、「学習障害」、「チック障害」などが含まれます。これらは、生まれつき脳の一部の機能に障がいがあるという点で共通しています。同じ人に、いくつかのタイプの発達障害があることも珍しくなく、そのため、同じ障がいがある人同士でもまったく似ていないように見えることがあります。個人差がとても大きいという点が、発達障害の特徴といえるかもしれません。

自閉症スペクトラム障害

現在の国際的診断基準の診断カテゴリーである広汎性発達障害(PDD)とほぼ同じ群を指しており、自閉症、アスペルガー症候群、そのほかの広汎性発達障害が含まれます。自閉症スペクトラム障害の人は、最近では約100人に1人から2人存在すると報告されています。

典型的には1歳代で、人の目を見ることが少ない、指さしをしない、ほかの子どもに関心がない、などの様子が見られます。保育所や幼稚園に入ると、一人遊びが多く集団行動が苦手など、人との関わり方が独特なことで気付かれることがあります。言葉を話し始めた時期は遅くなくても、自分の話したいことしか口にせず、会話がつながりにくいことがしばしばあります。また、電車やアニメのキャラクターなど、自分の好きなことや興味のあることには、毎日何時間でも熱中することがあります。初めてのことや決まっていたことの変更は苦手で、なじむまでにかなり時間がかかることがあります。

幼児期に診断された場合には、個別や小さな集団での療育を受けることによって、コミュニケーションの発達を促し、適応力を伸ばすことが期待できます。また、療育を経験することによって、新しい場面に対する不安が減り、集団活動に参加する意欲が高まります。言葉によるコミュニケーションに頼りすぎず、視覚的な手がかりを増やすなどの工夫をすれば、子どもの不安が減り、パニックが少なくなることが期待できます。幼児期から成人期を通して、身近にいる親や配偶者が本人の特性を理解していることが重要です。

注意欠如・多動性障害(ADHD)

7歳までに、多動・衝動性、あるいは不注意、またはその両方の症状が現れ、そのタイプ別の症状の程度によって、多動・衝動性優勢型、不注意優勢型、混合型に分類されます。

小学生を例にとると、多動・衝動性の症状には、座っていても手足をもじもじする、席を離れる、おとなしく遊ぶことが難しい、じっとしていられずいつも活動する、しゃべりすぎる、順番を待つのが難しい、他人の会話やゲームに割り込む、などがあります。

不注意の症状には、学校の勉強でうっかりミスが多い、課題や遊びなどの活動に集中し続けることができない、話しかけられていても聞いていないように見える、やるべきことを最後までやりとげない、課題や作業の段取りが下手、整理整頓が苦手、宿題のように集中力が必要なことを避ける、忘れ物や紛失が多い、気が散りやすい、などがあります。

多動症状は、一般的には成長とともに軽くなる場合が多いですが、不注意や衝動性の症状は半数が青年期まで、さらにその半数は成人期まで続くと報告されています。また、思春期以降になって、うつ症状や不安症状を合併する人もいます。

親をはじめとする家族がADHDに対する知識や理解を深め、本人の特性を理解することが、本人の自尊心を低下させることを防ぎ、自分を信じ、勉強や作業、社会生活への意欲を高めることにつながります。

学習障害(LD)

全般的な知的発達には問題がないのに、読む、書く、計算するなど特定の事柄のみが難しい状態を指し、それぞれ学業成績や日常生活に困難が生じます。こうした能力を要求される小学校2年生から4年生ころに成績不振などから明らかになります。その結果として、学業に意欲を失い、自信をなくしてしまうことがあります。有病率は、確認の方法にもよりますが2%から10%と見積もられており、読みの困難については、男性が女性より数倍多いと報告されています。

学習障害の子どもに対しては、教育的な支援が重要です。読むことが困難な場合は大きな文字で書かれた文章を指でなぞりながら読んだり、書くことが困難な場合は大きなマス目のノートを使ったり、計算が困難な場合は絵を使って視覚化するなど、それぞれに応じた工夫が必要です。親と学校が、子どもにある困難さを正しく理解し、決して子どもの怠慢のせいにしないで、適切な支援の方法について情報を共有することが大事です。

問●町福祉保健課　福祉班　☎0187(84)4907

令和3年度「温泉施設利用料助成券」「はり・きゅう・マッサージ施術費助成券」を交付します

高齢者の健康増進のため、**4月6日㈫から**「温泉施設利用料助成券」と「はり・きゅう・マッサージ施術費助成券」を町内3会場で順次交付します**(今年度は原則的に即日交付します)**。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として交付会場の混雑防止を図るため、行政区ごとに開催日を指定しています。**申請書は事前に記入・押印したうえでお持ちいただき、開始直後の時間帯は避ける**など、混雑防止へのご協力をお願いします。

注意事項等

- 下記の開催日以降に申請する場合は、4月19日㈪以降に町福祉保健課または六郷・仙南各出張所へ申請書等を提出してください。
- 申請書用紙・記入例は広報美郷4月号折込にて各世帯に1部ずつ配布しているほか、交付会場・町福祉保健課・各出張所にも用意しています。
- 出張所へ申請した場合は郵送による後日の交付となります。

交付内容

名　称	内　容	対象者
温泉施設利用料助成券	200円割引券を24枚交付します。 (町内温泉施設3カ所で利用できます)	町内に住所を有する満65歳以上の方
はり・きゅう・マッサージ施術費助成券	1,000円割引券を12枚交付します。	

※昭和31年4月から昭和32年3月までの間に生まれた方は、誕生月の初日から申請できます。
(例)昭和31年8月16日生まれの方 → 8月1日から申請・利用が可能です。

必要書類等

①申請書(あらかじめ記入・押印のうえお持ちください)
※代理申請の場合は、申請者本人の署名・押印漏れにご注意ください。
②印鑑
③本人確認書類(健康保険証、運転免許証等)
※代理申請の場合は、申請者と代理人2名分の本人確認書類をお持ちください。

巡回交付日程

開催日	受付時間	会　場	対象地区
4月6日㈫	午前9時～正午 午後1時～午後3時	【仙南地区】 美郷町総合体育館リリオス1階 フィットネスルーム ※正面玄関から入って左手奥の部屋になります。	後三年、元村、四ツ谷、新田、本田、下タ堰、菅谷地、八卦・熊堂、石柳、笹巻、大久保、万願寺、釜蓋、今泉、百目木、上千小町田、下千間谷地、町田、上萩沢、下萩沢
4月7日㈬			山本、谷地川、中島・藤原、橋本、鶴水、御前、上中野町、下中野町、佐野、天神堂、扇田、南町、上深井、駅前、都野
4月8日㈭			川原保、中関、谷地中、森先、上前郷、中前郷、下前郷、米ノ口、茨島、石神、野際、明田地、上野荒町、下野荒町、籠林、寺田、長岡森
4月9日㈮		【千畑地区】 美郷町役場3階 大会議室 ※エレベーターをご利用ください。	千屋北部、千屋中部、千屋南部、小荒川、土崎南部、土崎北部、本堂東部、本堂中部、本堂西部
4月12日㈪			元本堂南部、元本堂北部、黒沢、大坂、善知鳥、一丈木、第一暁、第二暁、上畑屋、下畑屋
4月13日㈫			羽貫谷地、塚、安城寺上、安城寺下、中野、湯竹、大畑、大柳、善元寺、外川原
4月14日㈬		【六郷地区】 美郷町中央ふれあい館ホール	大町、上町、荒町、古町、新町、赤城、米町、馬町、西高方町
4月15日㈭			琴平、東高方町、旭町、本道町、宝門町、小安門団地、上鑓田、中鑓田、下鑓田、本館
4月16日㈮			大荒田、浮池、遠槻、野中、押切紀の国、細筑、雀柳、北雀柳、関田、中村、田の尻、一ツ屋、四天地、荒川、七滝、四ツ屋、明田地、作山

申・問●町福祉保健課　地域包括支援班　☎0187(84)4907